

きょうもまた一人の喧嘩ファイターが命を賭ける!



BOGARD

喧嘩 プロフェッショナル

監督ティモシー・ギャルフアス/原作ティム・ケリー/音楽エド・タウンゼン ■ リチャード・ローソン/ロバート・バーダニー・コールマン/ジョン・ウェスラー・ロジャース
〈カラー〉アメリカ映画

ジョイパックフィルム
JOY PACK FILM PRESENTS



■スタッフ■
 製作………{ピーター・S・トレイナー
 ウィリアム・D・スクラー
 原作………ティム・ケリー
 監督………ティモシー・ギャルファス
 脚本………ティム・ケリー&メルヴィン・D・スクラー
 音楽………エド・タウンゼン

■キャスト■
 リロイ・フィスク……リチャード・ローソン
 フロ……アンナセット・チェース
 ローガン……ロバート・パー
 ベア……デニス・ゴードー

ハイネッケン……ダブニー・コールマン
 フレッチ……フィリップ・M・トーマス
 アール……リチャード・カイ
 アイラ……ジョン・ウエズリー・ロジャース
 エイボン……エド・リ
 イング……チャールズ・L・ハミルトン
 フレックス……アル・チェコ
 フォクス……モリス・バックナン
 スカーレディ……ジョセフ・ラスキン
 ジーガー……キャロリン・カルコ
 ムース……H・B・ハガティ
 マスター……ニコラス・ウォース
 シェリー……ステファニー・フォークナー

喧嘩 プロフェッショナル



クンテ

身長1メートル85センチ。体重84キロ。特徴・アンコ型。

リロイのデビュー戦の相手。新人のリロイをなめ、スタンドプレーを演じていたが強力なパンチを喰い、ガードを固めたが後の祭り。ノックアウトされ、腕をへし折られ、失神してしまう。



ムース

身長1メートル92センチ。体重102キロ。特徴・丸坊主。

初対戦の時はリロイをコテン、コテンに殴り倒す。第2戦は逆に積み上げられた車の窓ガラスに頭をブチ込まれ、血まみれになった顔面、急所である股間を交互に蹴り上げられ絶命する。



キリー

身長1メートル87センチ。体重92キロ。特徴・ヤサ型の色男。

テクニックのうまさでリロイを悩ませたがガードが悪く、特にアゴが弱かった。リロイの蹴りを顔面に喰い、体をかかえられ、地面に叩きつけられる。顔が歪み、血ヘドを吐いて半身不随になる。



ジボタ

身長1メートル73センチ。体重75キロ。特徴・学者タイプ。

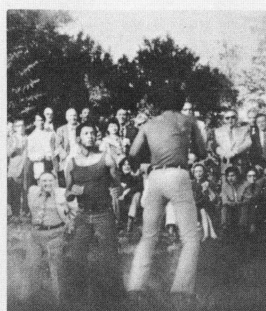
空手師範の腕前を持つ東洋人だが、リロイの喧嘩殺法には歯がたたない。向って行くところを逆にフルネルソンを掛けられ、そして地面にたたきつけられる。更にアゴを蹴りあげられ、倒れたところを両眼つぶし。



パク・サン

身長2メートル13センチ。体重115キロ。特徴・極端な面長。

プロレスラーだけあって、相手を軽々と持ち上げる。だが長身が故にニブイので、リロイの二段蹴り、そしてトラックのバンパーで頭をカチ割られ、再起不能のノック・ダウン。



アイラ

身長1メートル94センチ。体重92キロ。特徴・ストロングタイプ。

リロイの師匠。リロイを最高のファイターに育て、必殺法の数々を教えこんだ。興業主の陰謀に巻き込まれ、リロイと凄絶な死闘を展開する。伝えた二段背面飛び蹴りでリロイに破れ、死亡する。

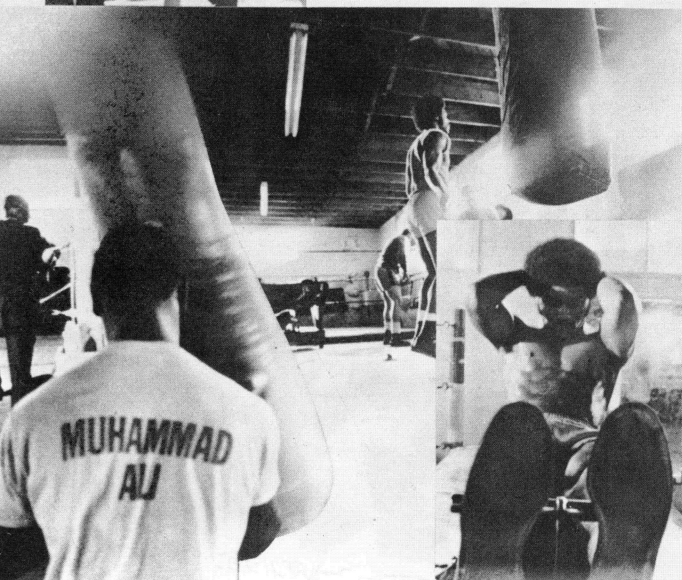
リロイ・フィスクの横顔

町のゲームセンターで、金銭トラブル上のことから相手の男二人を殴り倒す。その間わずか30秒たらず。その腕つぶしを見込まれプロの喧嘩興業者からスカウトされる。プロ転向後、初めのうちはジムで朝9時から夕方5時まで本格的に訓練を受ける。

蹴り、殴り、頭突き等々、初歩から最終段階までの訓練を終えると、まずクンテと戦う。そしてキリーと、相手は次第にツワ者にと変わってゆく。

彼は日に日に強くなり、遂には対戦相手がいなくなり、恩師と対戦することになる。結果はリロイの一方的な勝利をおさめるが、不運なことに命まで奪ってしまう。

それからのリロイは、自分のボスをウラミ、ニクむようになり、最終的にはそのグループを全滅させる。その喧嘩殺法は想像を絶する。便器に顔を突っ込ませたり、自動車にガソリンをふり散き点火させ、爆破させる。また、悪徳刑事を冷凍庫に生きたまま吊し上げる。



歌舞伎町

有楽町フードセンター前

2月25日(土)よりロードショー

新宿東急 (200) 1981

丸の内東映 パラス (535) 4740